



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町

# 志津南

## NEWS

志津南ホームページ  
http://waka-kusa.net/

発行  
志津南地区自治連合会

連絡先  
志津南市民センター (563-6206)

### 第三回志津南ふれあい文化祭開催

## 演奏、絵画、手芸にダンス

### 各サークルが日頃の成果競う

志津南市民センター(公民館)は12月16日から18日までの3日間、地域で活動するサークルが参加しての「第一回志津南ふれあい文化祭」を開催しました。昨年まではミュージックソングとして開催していましたが、今回は「ふれあい文化祭」と名称を変更、公民館を利用しているサークルに参加を呼び掛けました。これに応じてほとんどのサークルが出演、出展しました。サロンでは、色鉛筆画、俳句、刺繍、編み物、書道、活花やリース、トールペインティング、

手芸などの作品展示が行われ、多くの人が見事な出来栄に感心。コースター作りの体験コーナーも盛況でした。

調理室では自然派カフェが開店し、体に優しい素材で手作りのスイーツと飲み物が人気を呼んでいました。また午前のステージ発表では、体操や運動サークルが日頃の成果を発表し、体験コーナーを設けて活動内容を紹介、飛び入りの参加者らにぎやかに楽しんでいました。午後の部はセンター入口での威勢の良い和太鼓の呼び込みで

始まり、ギター合奏、大正琴、子どもたちのダンス、女声コーラス、踊り、カラオケと楽しいステージを展開、会場を埋めた観客が心温まるひと時を過ごしました。夜のダンスパーティーでは、着飾った参加者は、ミラーボールの光の下でパーティを満喫しました。

### 展示作品が盗難に

文化祭終了後、後片付けの際に、展示していた色鉛筆画4点と別展示されていた水墨画1点の計5点が盗まれていることが判明、草津署に届けました。盗難に遭うほど作品がすばらしかったということでしょうが、せっかくの文化祭に汚点を残しただけでなく、丹精込めた製作者

の気持ちを踏みにじるものです。志津南市民センターでは今後の気持ちは踏みにじるものではないかと、後片付けの際に、展示していた色鉛筆画4点と別展示されていた水墨画1点の計5点が盗まれていることが判明、草津署に届けました。盗難に遭うほど作品がすばらしかったということでしょうが、せっかくの文化祭に汚点を残しただけでなく、丹精込めた製作者

## 会則、組織制定で説明会

の気持ちを踏みにじるものではないかと、後片付けの際に、展示していた色鉛筆画4点と別展示されていた水墨画1点の計5点が盗まれていることが判明、草津署に届けました。盗難に遭うほど作品がすばらしかったということでしょうが、せっかくの文化祭に汚点を残しただけでなく、丹精込めた製作者

後の対策を検討することになっています。

まちづくり協議会についての住民説明会が昨年12月11日、志津南市民センター(公民館)で3回に分けて開かれ、105人が出席しました。写真。

「違い」を中心に説明、住民に理解と協力を求めました。現自治連組織では社会福祉協議会、体育振興会、老人クラブ、

同協議会については、昨年2月の第1回設立準備会から11月の第6回設立準備会まで、27人の設立準備委員会による熱心な論議と住民から寄せられた意見や提言を踏まえ、「会則」および「組織と主な活動」をまとめ上げました。

「違い」を中心に説明、住民に理解と協力を求めました。現自治連組織では社会福祉協議会、体育振興会、老人クラブ、

今回の説明会では、今までの「自治連合会」と、新たに設置される「まちづくり協議会」の子ども会など、さまざまな団体は、その代表者が評議員として総会に出席するだけで、協力しあって活動する仕組みになっておらず、個別にそれぞれの目的に沿って活動しています。

子ども会など、さまざまな団体は、その代表者が評議員として総会に出席するだけで、協力しあって活動する仕組みになっておらず、個別にそれぞれの目的に沿って活動しています。

今回の説明会では、今までの「自治連合会」と、新たに設置される「まちづくり協議会」の子ども会など、さまざまな団体は、その代表者が評議員として総会に出席するだけで、協力しあって活動する仕組みになっておらず、個別にそれぞれの目的に沿って活動しています。

子ども会など、さまざまな団体は、その代表者が評議員として総会に出席するだけで、協力しあって活動する仕組みになっておらず、個別にそれぞれの目的に沿って活動しています。



人垣ができた作品コーナー



美しい歌声を響かせるコーラス発表



卓球、囲碁ボールなどを楽しむ体験コーナー

今回の説明会では、今までの「自治連合会」と、新たに設置される「まちづくり協議会」の子ども会など、さまざまな団体は、その代表者が評議員として総会に出席するだけで、協力しあって活動する仕組みになっておらず、個別にそれぞれの目的に沿って活動しています。

これに対して、まちづくり協議会は、自治連合会に代わって町内会をはじめ、さまざまな団体の活動を有機的、効率的、効果的に進める仕組みをもった住民主体の自治組織となります。

なお、住民説明会における質疑応答をまとめたものを全戸配布しましたので、それをお読みいただきたいと思います。

# 新装市民センター、来月完成

昨年11月に着工された志津南市民センターのリフレッシュ工事が着々と進んでいます。



リフレッシュ工事が進む市民センター

中庭があった部分には、約20平方メートル程度の活動室(仮称)の外観ができあがってきました。地域活動の拠点など地域の方に使用していただけるような部屋としての活用が期待されます。

また調理室は、新しい調理台設置、空調設備の設置、殺菌庫の設置などが予定されており、既に古い調理台は撤去されました。完成すれば快適な環境での調理実習をしていただくことができます。

なお、調理室と調理室内にあった調理器具等保管のために使用している多目的室は1月末までは使用できませんので、利用される方々には迷惑をおかけし

# 子育てクラブがクリスマス会

子育てクラブ「ひよっこ」が12月1日、「おやっこ」が



子育てクラブ「ひよっこ」が12月1日、「おやっこ」が

ますが、ご協力をお願いいたします。工事は2月末に終わる予定です。リフレッシュされた市民センターのご利用をお待ちしています。

同15日に、志津南市民センターでクリスマス会を開催し、合計約70人が参加しました。写真。

両クラブのスタッフ、島田さん、山出さんの進行でプログラムが進められました。両日ともに子どもたちがお母さんと一緒にクリスマス用の飾りを作り、色紙でサンタさんやクリスマスツリーを作っていました。

また、お母さんがトナカイのぬいぐるみをかぶり、子どもをバスタオルに乗せて運ぶゲームでは、お母さんが被るトナカイさんが怖くて泣き出す子どももいました。

最後は鈴の音を響かせ大きな袋を担いだサンタクロースと、プレゼントを積んだ機関車を引くトナカイさんが登場、みんなびっくりした様子で大きな歓声がありました。サンタさんと一緒に音楽に合わせて行進した後、一人ひとりにプレゼントが渡されると「ありがとう」とにっこり。一足早くクリスマスの楽しいひと時を過ごしました。(民児協)

# 若草文庫がクリスマス会



若草文庫は12月21日、若草第三集会所でクリスマスケーキの飾り付けをしました。写真。

当日は、どんぐりクラブ(乳幼児)の親子さん4組、小学生35人が参加。スポンジ台にホイップクリーム、果物、チョコレート菓子など思い思いに飾りをアレンジし個性的なデコレーションケーキを作り楽しいひと時を過ごしました。

なお、若草文庫は新年1月11日(水)から(毎週水曜日14時~17時)開いています。また、どんぐりクラブも同時に開いています。たくさんのおもちゃもありますのでどうぞ遊びに来て下さい。お待ちしております。(若草文庫)

# ふれあいの大合唱

志津南地区社会福祉協議会(小野栄祐会長)主催の第5回「歌い継ぎたい日本の歌、みんなであうたふれあいの会」が12月18日、志津南市民センター(公民館)で開催され、51人が出席、楽しくふれあいの交流を深めました。今年もクラシックギター奏者村井教夫さん(若草三丁目)のギター伴奏で、参加者から募集した日本の歌20曲を歌いました。前半は「青い山脈」「赤とんぼ」「憧れのハワイ航路」「いい日旅立ち」「上を向いて歩こう」など10曲。

ボランティアさんたちの心のこもった手作りの「おせんざい」と「お茶」のあと、「高原列車は行く」「ここに幸あれ」「白いブランコ」「青春時代」など9曲を歌い、最後は12月恒例の「聖者(きよしこの夜)」の大合唱で締めくくりました。



日本の歌を合唱する参加者

# ウッドデッキも設けられたふれあいハウス



# ふれあいハウス、来月オープン

地域で支えあう活動の拠点、ふれあいハウスとして、若草第六集会所が明るい雰囲気、装いに改修され、志津南地区社会福祉協議会では来月5日のオープンに向けて準備を進めています。

1階は交流の場としての喫茶室と事務室に、2階は子供コーナー、くつろぎコーナーやマージャン室などになります。また、1階には喫茶室につながるウッドデッキを設け、若草六丁目児童遊園からも自由に行き来できるようになります。

同ハウスは、ふれあいの場として金曜日を除き毎日開くことを目指しており、高齢者の日常支援等も行います。高齢社会を迎え、お互いに助け合える雰囲気のまちづくりの拠点としてハウスがお役にたてることを願っています。詳しくは、追ってチラシでお知らせいたします。気軽にご利用ください。(社協)

# こよみ

- 1月21日(土)
  - ☆健康ウォーキング
  - 8:45 若草中央公園集合
  - ★人権講座・同推協報告会
  - 19:00～21:00
- 1月25日(水)
  - ★やすらぎ学級
  - 13:30～17:00
- 1月28日(土)
  - ☆社会奉仕
  - 8:30 若草中央公園集合
- 1月31日(火)
  - ★地域サロン：懐メロを歌う会
  - 10:00～11:30
- 2月3日(金)
  - ★ふれあい昼食会
  - 12:00～13:00
  - ボランティア「泉」
- 2月4日(土)
  - ☆健康ウォーキング
  - 8:45 若草中央公園集合
- 2月14日(火)
  - ★地域サロン：懐メロを歌う会
  - 10:00～11:30
- 毎週金曜日
  - ☆ふれあい喫茶(お茶の間)
  - 10:00～12:00
  - 若草第五集会所

★印の会場は志津南市民センター(公民館)です

真剣な表情で筆をふるう子どもたち



ていねいに書き初め  
恒例の志津南地区子ども書き初め大会が1月5日、志津南市民センターで行われました。当日は1年生から6年生まで42人が参加、若草4丁目の西口青咲先生らの指導で子どもたちは一字、一字、ていねいに真剣な表情で筆を運んでいました。この日の作品は草津市子ども書き初め大会に出品されたのち、平和堂草津店に展示され入賞作品はその後、草津市まちづくりセンターにも展示されます。たくさんの方に見ていただければと思います。

また、この日に書かれた全ての作品は1月20日まで志津南市民センターにも展示されています。



発足した「くさかりたい」のメンバー

## ボランティア「くさかりたい」発足 若草1・2中心に20数人

自主的に草刈り奉仕を、というボランティア「くさかりたい」が12月10日結成され、地域の美化に取り組みことになりました。初会合のこの日、若草第一集会所には幹事の扇寛さん、林茂さんら14人が出席しました。第1次登録者は若草1・2丁目の有志を中心に他町内からも申し出があり、20数人に達しました。

また、この日に書かれた全ての作品は1月20日まで志津南市民センターにも展示されています。(子ども会)

や器具の使用方法などについて活発に意見が交わされました。会議のあと、親睦会に移り、



「感じてください、差別をなくすために」をテーマに、志津南市民センターは第2回人権講座を次の通り開催します。すてきな音楽とお話です。多数のご参加をお待ちしています。

▽日時 1月21日(土) 午後8時から  
▽場所 志津南市民センター  
▽内容 「ほほ」さんのコンサート、講話など

やすらぎ学級で  
振り込め詐欺対策  
やすらぎ学級第7回講座が12月21日、志津南市民センターで行われ、学級生ら37人が参加しました。今回は、「振り込め詐欺から身を守る」と題し、草津市生活安心課消費生活センター職員から、

京セラで環境講座  
志津南公民館の環境講座「企業の地球環境保全活動に学ぶ」が12月2日、京セラ滋賀蒲生工場・八日市工場で行われました。24人の参加者は会議室で京セラの創業から現在に至るまでの歴史と環境保全活動への取り組みの説明を受けたあと、野外に設置してあるグリーン&エコカーテン、太陽エネルギーを使用した電動自転車充電設備や社有

21日に  
人権コンサート  
「感じてください、差別をなくすために」をテーマに、志津南市民センターは第2回人権講座を次の通り開催します。すてきな音楽とお話です。多数のご参加をお待ちしています。

手作りの鍋料理をかこんで自己紹介など普段のご近所とはまた違う絆を深めました。今年度、1・2丁目では有志が下草刈りをしたお陰で一斉清掃をととも早く楽に終えることが出来ました。町内のみなさんからの感謝の声が多く「ならばここで地域のためにひと肌脱いでお手伝いするか」と立ち上がったのが今回のボランティア「くさかりたい」。

ただ、草を刈るだけでは楽しくないので、草刈りを通じて悪質商法事例と悪質な勧誘に遭わないための心得などを聞いたあと、消費生活センターと市民センター職員による寸劇を楽しみました。最後に全員で「訪問販売お断り音頭」を合唱、気持ちを引き締めました。

京セラ社員から説明を受ける参加者  
林の里山再生活動、製品の製造過程から発生する排水の処理施設などを見学しました。琵琶湖への放流水の基準を自社で独自に一般基準より厳しく設定し実施、監視するなど琵琶湖の環境保全に対する企業姿勢を強く感じた研修でした。



ついでに事業終わる

志津南市民センターは、高齢者等ついで推進事業として、「草津あんしんいきいきプラン」に基づき、高齢者や地域住民の社会参加や生きがいづくりの拠点となるよう高齢者向け講座の充実に励んできました。

6月のパソコン講座に始まり、8月のピンポン教室、9月に映画ポスター展、10月に3回

の映画会、昔の写真展、最後に11月のみんなの作品展＝写真＝で締めくくりました。



やすらぎ学級生募集

志津南市民センター（公民館）は平成24年度「やすらぎ学級」の受講生を募集します。

期間は一年で、環境や福祉人権などの課題学習や音楽鑑賞、館外研修なども計画しています。みんなで楽しく学びましょう。

▽対象 60歳以上の市民

まちかどアングル

緑のオブジェ

団地の中を歩いていて、ふと目に止まる庭木。萌黄色の奇妙な形はソフトクリームを思わせる。ゴールドクラスというそうだ。サークルカットされた枝葉はきれいにそろえられており、

さぞかし手入れは大変だろうと想像する。そういえば、遊園地や公園などで見かけた記憶がある。たいていは動物クマや子犬だったように思う。ただ突っ立っているのではなく、通りかかると人たちに「わたしは何に見える？」と問いかけているようではほほえましい。



環境講座の受講生募集

志津南市民センターは次の要領で「放射能が人体に与える影響」をテーマに環境講座を開催します。

▽開催日 5月から翌年3月までの毎月第4水曜日、午後1時30分～同3時（全10回）  
▽参加費 申し込み時に千円（受講料六百円を含む）。そのほかに必要に応じて個人負担があります。  
▽申込受付 平成24年1月16日（月）から随時受け付け  
申し込み・問い合わせは志津南市民センター（公民館）電話563・6206へ。

東日本大震災の影響を受け、東電福島原子力発電所がメルトダウンに陥り、拡散された放射能の影響が今後どうなっていくのか、今もって風評被害などが起きている状況にあります。今回は放射能の影響と報道についての正しい理解するための講座です。

▽日時 3月10日（土）午後1時30分～同3時30分  
▽講師 藤田学園保健衛生大学名誉教授 前田壽登氏  
▽場所 志津南市民センター  
▽参加費 無料

折々の記

沖縄は亜熱帯性気候で四季はない。ただ暑い夏と涼しい夏があるだけである。青い海と青い空。ほんとに真っ青。そして台風銀座。

ゴーヤーチャンプルーをつつきながら、泡盛をロックで味わう。ゆったりと流れる時間。遠くで聞こえる三線（さんしん）の音色。汗だくだけのエイサー踊り。琉球王朝の遺産、首里城平和の礎（いしじ）

の静かな祈り。ほんとにうるさい軍用機の爆音。毎年、10日間ほどを沖縄で一人過すのが、この5年間の年中行事となっている。

だが、私は沖縄出身ではない。福岡で生まれ育った生粋の博多っ子である。就職するまでの22年半を福岡市で過ごした。ところが、建設会社に就職してからは各地を転々とするようになる。振り出しは神戸市で、5年半暮らし、その間に結婚して長女を授かった。次に京都府の長岡京市に移り、そこで4年半過

し、次女が生まれた。その次が福岡県の敦賀市である。原子力発電所の建設に携わり4年が経った。

次女が小学校に上がるのを機に、転居生活に終止符を打つべく、この若草を終（つい）の棲家（すみか）と定めて26年、つまり四半世紀を超えた。

ところが、建設会社社員の宿命で、自宅から通勤できたのは10年半。「二人で行ってらっしゃい」と送り出されて、単身赴任生活となったのである。

まず敦賀市に再び赴（おもむ）くことになり1年過ごした。次は沖縄県的那覇市である。暑い暑い沖縄の地で4年間工事に従事した。その後は

第二の故郷

福岡で支店の業務に就き、5年半後に退職して、10年半に及ぶ単身赴任生活に別れを告げ、5年が経過して現在に至っている。

結局、福岡には計28年間居たことになり、それは人生の半分弱を占め、私にとって故郷（ふるさと）であることに間違いはない。しかし、4年間暮らしただけの沖縄が、第二の故郷として、なぜか私の心に深く刻まれている。

（元転勤族）